

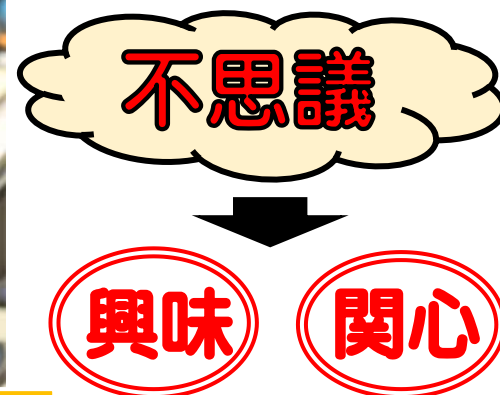
# 森林・林業学習アプリ木育AR博物館



次世代を担う子ども達に興味関心を持たせる仕組みをデザイン



360度林業見学



木育クイズに挑戦！



写真が動きだす！？

AR／拡張現実

## 森林の木が私たちの手元に製品として届くまでの工程を伝える



パネルにタブレットをかざすと写真が動きだす！

ポイント

- 一般的な普及啓発用パネルは見られにくい
- 関心がない情報を受け取る側の準備が出来ていない



“写真が動く技術”に対する現象から関心を持つきっかけ作り  
タブレットを自分からかざしに行くことで受け手の準備が出来る



VR／仮想現実

## 木育クイズに正解すると林業作業のVR映像を観ることができる



アプリのVR映像は画質が荒くなるためVRゴーグルによる高画質体験も実施

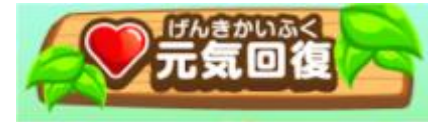
ポイント

- ・クイズラリーの問題はアプリだけで完結させないよう年輪や木の種類の重さ等、会場で木に触れ五感で楽しめるように工夫した
- ・VR映像は伐採作業の横、高性能林業機械の操縦席や外窓から普段見られない視点で360度林業の様子を楽しめるよう工夫した

# 森林資源の循環利用を「木の育成ゲーム」で楽しみながら理解する

- ・苗木から収穫まで育てる
- ・クリアするとVR映像を見れる

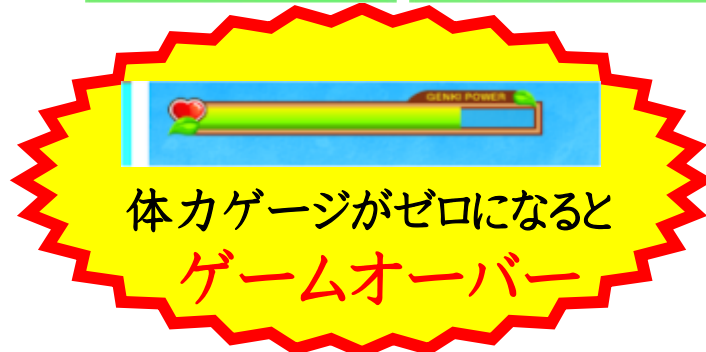
おじやま虫をタップで退治！  
「森林は育てることが大切」  
ゲーム感覚で印象付ける



植林や枝打ちなど森林を育てる  
工程について説明を見る

→ 体力ゲージが回復する！

楽しみながら伝わるよう工夫した





## 木育イベント



## 教育現場



- ・林業を知る機会につながります。  
SDGsの取り組みには、このようなイベントが有意義だと思う。
- ・木に触れあえるイベントはあまり参加したことがなかったのでとても興味深かったですこれはイメージがふくらんで子どもは大喜びです。
- ・子どももクイズに頑張って挑戦していて楽しかった。

## 参加者の声

- ・VR、タブレットを使った内容とてもわかり易く色々なことを知ること(理解)ができた。
- ・初体験、伐る様子を見たり、360度見えたりでワクワク、リアル度も高かった。
- ・木のことをあまり考えていなかったが木を育てるには何十年もかかるので大変なことを知り、木を大切にしたいと思った。

森林保全の大切さや木材に対する興味関心に繋がられている